



2015年1月22日

各 位

会社名 新華ホールディングス・リミテッド
(URL: www.xinhuaholdings.com)
代表者名 最高経営責任者 (CEO)
レン・イー・ハン
(東証マザーズ コード番号: 9399)
連絡先 経営企画室マネージャー
高山 雄太
(電話: 03-4570-0741)

業績予想の修正に関するお知らせ

新華ホールディングス・リミテッド (以下、「当社」といいます。) は、2014年5月29日に公表した2014年度通期 (2014年1月1日~2014年12月31日) の連結業績予想について、以下の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

業績予想の修正

- (1) 2014年度通期 (2014年1月1日~2014年12月31日) の連結業績予想 (日本 GAAP) の修正
(単位: 千米ドル (1株当たり当期純利益は米ドル)、
括弧内は百万円 (1株当たり当期純利益は円)、但し%を除く)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 ^{1, 2} (A)	3,249 (392)	△6,232 (△751)	△7,219 (△870)	△6,697 (△807)	△3.79 (△456.88)
今回修正予想 ¹ (B)	3,697 (446)	△3,046 (△367)	△3,850 (△464)	△2,910 (△351)	△1.42 (△171.18)
増減 (B - A)	447 (54)	3,186 (384)	3,369 (406)	3,787 (457)	2.37 (285.70)
増減率 (%)	13.76	-	-	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2013年度通期)	5,114 (616)	△6,567 (△792)	△6,465 (△779)	△5,876 (△708)	△3.88 (△467.73)

- 適用為替レート: 1米ドル=120.55円 (2014年12月30日現在の東京外国為替市場における外国為替相場 (仲値))
- 2014年5月29日付の業績予想において適用された前回発表予想の為替レートは1米ドル=102.92円から120.55円に変更されております。
- 期中平均株式数は、1,765,922.32から2,055,660.50に変更されています。
- △は損失を示します。



(注)：業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

(2) 修正の理由

当社は、2014年度通期の連結業績予想を、以下のとおり修正いたします。

2014年度通期の業績予想

当社は、金融情報配信事業セグメントにおける新たな顧客の獲得及び既存の顧客からの予想を上回る売上があったことを主な理由として、2014年度通期における売上高の予想を3,249千米ドル(392百万円)から3,697千米ドル(446百万円)に修正いたします。

当社は、金融情報配信事業セグメントにおける売上の増加及び予想を下回る弁護士費用等の専門家費用の支払いを主な理由として、2014年度通期における営業損失の予想を6,232千米ドル(751百万円)から3,046千米ドル(367百万円)に修正いたします。専門家費用が予想を下回った主な理由は、2014年5月28日に開示した「(続報)「特別損失の計上見込みに関するお知らせ」」にてお知らせしたフレディ・ブッシュ氏の件に関してその後同氏からの連絡がなく、見込んでいた約2百万米ドル(241百万円)の弁護士費用が発生しなかったためです。

当社は、予想を下回る持分法による投資損失及び専門家費用の支払い及び予想を上回る為替差損を主な理由として、2014年度通期における経常損失の予想を7,219千米ドル(870百万円)から3,850千米ドル(464百万円)に修正いたします。2014年度通期における、持分法による投資損失及び為替差損の概算額は、それぞれ222千米ドル(27百万円)及び476千米ドル(57百万円)となる見込みです。当該持分法による投資損失及び為替差損の当初の見込額は、それぞれ804千米ドル(97百万円)及び46千米ドル(6百万円)でした。

当社は、予想を上回る新株予約権の消滅に伴う特別利益及び為替差損、並びに予想を下回る弁護士費用等の専門家費用の支払い及び持分法による投資損失を主な理由として、2014年度通期における当期純損失の予想を6,697千米ドル(807百万円)から2,910千米ドル(351百万円)に修正いたします。新株予約権の消滅に伴う特別利益は、2014年8月12日付で開示した特別利益522千米ドル(63百万円)に加え、過去に退社したその他の役員及び社員の株予約権の消滅に伴う特別利益であり、その概算額は合計で942千米ドル(114百万円)となる見込みです。当該特別利益の当初の見込額は、522千米ドル(63百万円)でした。

なお、上記の持分法による投資損失、為替差損及び新株予約権の消滅に伴う特別利益の概算額の具体的な金額については精査が終了次第、プレス・リリース又は決算短信の中で追ってお知らせします。

(参考) 国際財務報告基準(IFRS)に基づく業績予想

1. 2014年度通期(2014年1月1日~2014年12月31日)の連結業績予想(IFRS)の修正
(単位：千米ドル、括弧内は百万円、但し%を除く)

	売上高	当期純利益	E B I T D A
前回発表予想 ^{1,2} (A)	3,249 (392)	△7,075 (△853)	△6,169 (△744)
今回修正予想 ¹ (B)	3,697 (446)	△3,670 (△442)	△3,520 (△424)
増減 (B - A)	447 (54)	3,405 (410)	2,649 (319)



増減率 (%)	13.76	-	-
(参考) 前期実績 ¹ (2013 年度通期)	3,173 (383)	△7,364 (△888)	△6,254 (△754)

1. 適用為替レート：1 米ドル=120.55 円（2014 年 12 月 30 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））
2. 2014 年 5 月 29 日付の業績予想において適用された前回発表予想の為替レートは 1 米ドル=102.92 円から 120.55 円に変更されております。
3. 期中平均株式数は、1,765,922.32 から 2,055,660.50 に変更されています。
4. △は損失を示します。

（注）：業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

本書における上記の業績予想に関する記載は、本書の日付現在において経営陣に入手可能な情報に基づいています。予想には様々なリスク及び不確実性が内在しており、実際の業績及び結果はこれらの予想と大きく異なる場合があります。投資家の皆様は、投資判断を行うに当たって、本書に記載される業績予想のみに依拠することのないようご留意下さい。業績予想につきましても随時見直しを行い、開示ルールに従って公表していく予定です。

以上



新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主に中国及び日本を含むその他のアジアの地域において、金融サービス及びパブリックリレーションの事業分野において商品及びサービス並びにスマートフォン、テレコム・ソフトウェア・プラットフォーム、グローバル・メッセージング・ゲートウェイ及びモバイル広告プラットフォームの開発及びオペレーションを提供しています。東京証券取引所のマザーズ市場に上場（証券コード：9399）しており、香港に事業本部を構え、中国及び日本に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：<http://www.xinhuaholdings.com/jp/home/index.htm> をご参照下さい。
本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。